



紀宝町

議会だより

平成24年3月1日発行（第21号）



節分に かわいい鬼達
大集合♪（鶺鴒保育所）

議 会 日 誌

平成23年10月～12月

- | | |
|--|---|
| <p>10月</p> <p>3日 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（三重県）
台風12号災害にかかる緊急要望（三重県）</p> <p>4日 参議院災害対策特別委員会現地視察</p> <p>7日 みんなの党渡辺代表現地視察、議会運営委員会</p> <p>11日 第3回定例会・第2日目</p> <p>12日 第3回定例会・第3日目</p> <p>13日 東紀州農業共済事務組合議会定例会（熊野市）</p> <p>17日 前田国土交通大臣被災地視察</p> <p>21日 多気町議会現地視察</p> <p>25日 紀南病院組合議会定例会（御浜町）
紀南社会福祉施設組合他一部事務組合議会定例会（御浜町）、全員協議会、議会運営委員会</p> <p>11月</p> <p>5日 地域の安全・安心を考えるフォーラム（熊野市）</p> <p>7日 井田保育所竣工式、三重県議会への要請（津市）</p> <p>8日 議会運営委員会</p> | <p>10日 第2回臨時会、議会運営委員会</p> <p>11日 三重県関係部長等との意見交換会（津市）</p> <p>14日 総務産業常任委員会、災害復興対策特別委員会</p> <p>16日 第55回町村議会議長全国大会（東京都）</p> <p>24日 議会運営委員会、災害復興対策特別委員会</p> <p>28日 第3回臨時会、全員協議会</p> <p>12月</p> <p>6日 議会運営委員会</p> <p>8日 環境保全対策特別委員会</p> <p>9日 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会（御浜町）</p> <p>13日 第4回定例会・第1日目</p> <p>14日 第4回定例会・第2日目</p> <p>15日 第4回定例会・第3日目</p> <p>26日 熊野川流域対策特別委員会</p> <p>27日 紀南病院組合議会臨時会（御浜町）
紀南介護保険広域連合議会定例会（熊野市）</p> |
|--|---|

12月定例会 一般質問

(要約)

平成23年第4回紀宝町議会定例会は12月13日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第3回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の14日にわたり9人の議員が、諸課題について当局の考え方を質し、活発な議論が交わされました。引き続き、議案審議に入り、固定資産評価審査委員会委員の人事選任案件3件、条例の一部改正案件3件を可決しました。

第3日目の15日には、平成23年度一般会計補正予算案件2件、特別会計補正予算案件2件をそれぞれ可決。続いて、意見書2件を可決し、閉会しました。

議員

輪中堤の今後を町としてどのようにお考えですか。

産業建設課長

平成23年11月17日に国土交通省・三重県・紀宝町からなる相野谷川沿いにおける災害復旧のあり方検討に関する協議

- ・台風12号の被災者支援について
- ・災害に強い町づくりの取り組みについて

西村 喜久男 議員



輪中堤の今後を町としてどのようにお考えですか。は、熊野川本川、支川相野谷川の総合的な治水計画を視野に入れた相野谷川の災害復旧のあり方検討をお願いしたいと述べたところです。

町長

今回は輪中堤以外の所でも床上浸水が発生し、町内全域で大きな被害が起こったわけですので、やはり輪中堤の皆さま方の今後のあり方についてもしっかりと検討し取り組んでいく必要があると思っております。各地区で起こった浸水被害について、熊野川本川全体の中で治水のあり方についても検討し、今後の減

災、防災につなげていきたいと思っております。

議員

輪中堤の家屋で全壊、大規模半壊などの被害でそのまま住めない方、建て替え希望の方へ宅地の嵩上げ、移転などの支援について町としてのお考えはありますか。

産業建設課長

10月9日に国の取り組み等が、報道発表されております。このことも十分内容を踏まえた上で、災害復旧のあり方検討に関する協議会で今後、引き続き協議検討していきたいと考えております。

町長

輪中堤は高岡地区、鮎田地区、大里地区に140世帯あまりあるわけですし、全体の中で地域の皆さま方のご意見をしっかりと受け止めて、今後の検討を進めてまいりたいと思っております。

議員

今回仮設住宅については、アパートの借上げで対応されておりませんが、東日本大震災では岩手県気仙郡住田町の、プレハブの仮設住宅でなく、増改築すれば恒久的な住宅に充分転用可能な木造仮設住宅が注目を浴びているようです。期限付きでない木造仮設住宅への支援についてどう思われますか。

町長

国の政策等においても、そういった仮設住宅の新たな取り組みは今後十分検討されるべきではないかと思っております。

議員

個人営農者への農業機械などの修理費用の補助及び低金利融資等の支援する取り組みのお考えはどうですか。

産業建設課長

営農者個人に対する補助金は残念ながらありません。県の補助事業の対象となるためには、集落営農組織を立ち上

台風12号の被災者支援

被災者支援

げる、集団化や法人化を目指すことが条件となります。個人の農業者の方々に対し、一定の条件はありますが、日本政策金融公庫の農林漁業セーフティネット資金やJAの農業関係復旧資金の利子補給を活用していただきたいと考えており、その対応として補正予算を計上しております。

議員

災害救助法27条にある生活するための仕事に必要な資金、機械器具などについて、三重県知事に追加支援の考えはどうですか。

町長

三重県も利子補給をしていくことも打ち出しています。これからさらに県とも話していく中でどういう支援ができるか検討していく必要があるかと思っています。

議員

田畑への流木、土砂ゴミの除去について、個人負担ができるだけ少なくなるような町からの支援のお考えはありますか。

町長

町としても努力してまいりたいと思っています。ただ、農道や用排水路、土砂崩れ等

で個人の方も被害を受けておられる所もたくさんあります。それら全体を考えていかないと不公平感があると町民間のなかで危惧が生じてくると思いますので、状況をしっかりと把握したなかで、これから町としてどのようなことができるか考えていきたいと思っています。

議員

河川の氾濫で田畑への取水口が崩壊等の大きな被害を受けており、来年の耕作期までに復旧できるのか心配しております。町として今後の見通しはどのようにお考えですか。

産業建設課長

農業用施設災害復旧事業に申請をするものについては、すでに農政局と財務局の査定作業が終了しております。早期の工事発注を行い、来年の作付けに間に合うよう努力していきたいと考えております。工期が長期になるものなど、営業開始時期に間に合わないものなどについては、受益者との協働作業において揚水ポンプの仮設などを実施し、用水の確保によって作付け可能な農地の救済に最大限の努力をしたいと考えております。

議員

未給水地区の水道被害の実情と、高齢者地区に對しての支援についてどのようにお考えですか。

環境衛生課長

取水口の流失、送水管の破損などの被害があり、資材を支給させていただきました。今回の災害においては修復費が多額であるため、一般会計補正予算に原材料費等を予算計上し、支援させていただきました。

町長

協力できるところは協力し合ってお互いができる部分を負担をし合いながら進めていくことが大事だと思っていますので、お互い常に連携をとりながら、各地区の皆さんと共に、できるだけ負担の少ないようなかたちのなかの取り組みを進めていきたいと思っています。

災害に強い町づくり

議員

避難の妨げにならないために、排水路整備、道路整備などの対策をどのようにお考えですか。

産業建設課長

町では排水不全、老朽化の著しい排水路につき道整備交付金事業において、平成22年度から平成26年度の5年間で26路線を整備する予定で進めております。近年のゲリラ豪雨に對応できる排水路を整備していくには大きな予算と時間を要するものと考えており、限られた予算の中で早急に對応しなければいけない場所を選定をしていく必要があると考えております。今後については、国、県と情報を共有し、状況を確認しながら課題に取り組んでいかなければと考えております。

議員

避難所、集会所の浸水被害があり避難場所の見直しが必要と思いますが、町としてどのようにお考えですか。

防災担当理事

今回の12号台風の被害を教訓に浸水した避難所について、今後は地元区長、住民の方々のご意見を拝聴する中で、避難所の見直しの検討を早急に進める必要があると認識しております。また、避難場所の整備につきましても安全な場所の確保に努めたいと考えております。





塩野 真 議員

- ・緊急時の対応(保育所)
- ・緊急時の対応(学校)
- ・農業について
- ・産業振興について

— 保 育 所

議員

保育所における目的はあくまで保育である。紀宝町の保育所において、警報発令時の対応はどのようになっているのか。

福祉課長

本町に暴風警報、大雨警報のいずれかが発令された場合は、保育所は原則臨時休所となります。ただし、お仕事の都合などご家庭で保育ができない場合は、保育所へご相談いただければ通常通り保育を行うこととしています。

議員

大雨洪水警報でも多少融通されるということだが、保護者が有休を取り、休めない仕事を休んで子どもを迎えに来ている状況がある。情報を公にできないか。

福祉課長

今回の警報発令時の保育所の臨時休所及び給食についてのお知らせは、8月26日に保護者各位へ文書で通知はさせていただきました。ご指摘の通り、細かい配慮に足らない部分もございますので、もう一度検討させていただいて、皆さんにより深くご理解をいただきための工夫をしてみたいと考えております。

議員

警報発令時の休所、災害発生時の緊急の引取り等のお知らせを緊急メール配信できないか。

福祉課長

子育て支援センターにおいて、携帯メール配信サービスを開始いたしました。登録いただいた方に、行事案内などの情報を携帯メールに一斉配信をさせていただきます。この配信サービス

— 学 校

議員

台風12号で校内のトイレが使用できない、手洗いの水の確保であるとか、いろいろな課題、今後の対策は。

教育課長

日ごろから断水時に備えて、水の確保について考えておくことが大切であります。飲用に使用する水については、水質検査等をやっておくことも必要だと思います。生活用水につきましてはプール、近くの川などから汲み上げるエンジン付きのポンプなどがあれば便利ではないかと思っております。

議員

私たちの知らないところで、生死に関わるような体験をした子どもや保護者がいる。心のケアの現状はどうなのか。

教育課長

校内では、担任と養護教諭が注意深く子どもの様子を観察、見守り、学級活動や全校活動の中で、他者との関わり合いを作ったり、個別的に日記指導や作文指導を行いました。全校児童を対象に「生活アンケート」を実施した学校もあります。県教育委員会からスクールカウンセラーを配置して、専門的な心のケアに当たっています。

議員

学校で被災した時に引渡し約束が今あるか、そういう訓練を行っているのか。

教育課長

保護者を交えた引渡し訓練は、現在のところまだ行っておりませんが、学校におきまして今検討中でございます。

議員

例えば大雨洪水警報とか土砂災害の警報が出た時、土砂災害に巻き込まれる恐れがある子どもを帰すのかどうか、細かいルール作りが必要である。保護者に子どもを安全に引渡すためのルール作りは、早急にやっていただきたい。台風15号の際、町内で休校の判断でばらつきがあった。統一できないのか。

教育長

教育委員会としましても、各学校の様子や地域の様子が把握できませんので、校長の判断を仰ぎたい。そして判断に対しては、こちらが責任を持つべきと考えております。子どもを安全を第一に考えまして、臨機応変に対応していかなければならないと思っております。

議員

災害時の所在や状態、引取りの連絡、また警報発令時の休校のお知らせとして、一斉メール配信を導入してはどうか。

教育課長

メールは有効と考えます。当町におきましても、12月からある学校で某会社のメール配信を利用して、実施を進めていくというのを聞いております。この学校の取組みも見守り、他校も参考にしたいと考えています。

— 農 業

議員

どんな負担が生じようが、何があってもこの町の農業は後退させない、明確なメッセージを町として示していくべ

きではないか。6次産業や米作り以外の新しい生産物へのチャレンジ、企業との提携栽培を行うなど、町として農業を今後どのようにして維持、発展させていきたいのか。

産業建設課長

国や県が提唱する生産から流通販売までの6次産業化の取組みを稲作農家等にも拡大し、各地元販売所やインターネット、その他あらゆる販路を活用しながら、儲かる農業経営を目指さなければならぬと考えており、町としてバックアップできるものを考えたいと思っております。

議員

農業従事者の高齢化も問題である。環境やシステムをいくらか整備しても、担い手がいなければ町の農業を発展させることはできないと思う。簡単に若い人が農業に興味を持って、従事してくれるわけではない。町の農業の今後を考え、担い手不足などの問題を今の問題と併せて解消していくよう、環境、組織づくりを考えていくべきである。

産業建設課長

この度の台風12号被害を機に、さらに農地の利用集積、

集団化を促進しながら、国や県が提唱する面積2〜5町歩を耕作していただき、安定した収入を確保できるような農業を継続していきけるよう、農業改良普及センターやJA等のアドバイスを受けながら進めてまいりたいと思っております。

産業振興

議員

今回、災害時に情報発信が少なく住民の方から多くの声をいただいた結果、町のホームページがこまめに更新され、ツイッターによる情報発信が生まれた。災害をバネに新しい施策が生まれるというのは、こういうことじゃないかと私は思う。災害直後、道の状況も良くない、鉄道も途中までしか通っていない、時間もお金もかかる、そんな極めて厳しい状況の中、手弁当で紀宝町へボランティアに来てくれた人たちは、間違いなく紀宝町に注目している人だと思う。この5314人に対し、できるなら現状を沿えた手紙を一人ひとりに差し出し、後のことを考えればや

り過ぎではないと思う。私が反対の立場でお手紙をいたしたら、間違いなく紀宝町に行こうかなという気になる。今まで気にも留めなかった人たちが、この地域のファンになってくれ、つながりが生まれる。そういう可能性が5314人にはあると思う。復興していく一つの施策としてやってみてはどうか。当町の抱える問題、働く場所、若い世代の流出、少子化は、道路がついただけでは解決しないと。道路開通に伴う一時的な盛り上がりではなく、多くの人が注目しているこの状況を大きなチャンスと捉え、継続していける施策を考え、実施していく必要がある。

(地域振興の提案)

・シャトルバスの運用

すでに走っているバスに便乗。紀宝町に目掛けてシャトルバスを走らせてもボリュームを出すことができない。尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町等が連携した取組みでバスを走らせ、集客を図っていく方法。ボランティアの方への案内、宿泊、懇親、彼らとの課題の共有。

・熊野市のスポーツ大会サ

ポイント

熊野市に毎年野球、ラグビー、ソフトボールのチームが大会、キャンプ、親善試合に來ている。熊野市だけでは宿泊の需要が一杯である。中にはできる限り経費を抑えて、大会に参加をしたい団体もある。当町の集会所、公民館等の施設を宿泊所として利用していただいてはどうか。そういう援助の仕方もあると思う。大会の協賛として金品を提供するだけでなく、選手の滞在先、食事の援助という応援の仕方もあると思う。

・特産物の共有

例えば勝浦のマグロ、当地域のおいしいみかん、マグロが勝つか、みかんが勝つかではなく、紀宝町と那智勝浦町を南紀の一地域として大きく見た場合に、おいしいみかんもあるし、おいしいマグロもあるという連携がとれる。紀北町辺りから勝浦・串本・田辺、白浜辺りの市町で南紀が連携してPRするとすれば、例えば伊勢のお客さまに、紀北町、尾鷲市を通り、熊野市、御浜町を通り紀宝町に。勝浦、新宮辺りで泊りいただいで、さらにはパンダを見て

帰るといふ一連のルート案内できないか。一市町だけで呼び込もうとすると大変だが、各地のいろんな特産物、観光名所を使ってお客さまを呼び込んでみてはどうか。平成25年には伊勢神宮は、式年遷宮を迎える。おかげ横丁に南紀をPRするアンテナショップを一軒作れないか。できる、できないは別にして、いろんな機関と連携し可能性を探ってほしい。

・社会貢献

働く場所もない、少子化問題、そしてこの大変な状況で紀宝町が社会貢献の町として頑張っていきたい。そんなメッセージを出した時、深く理解してくれ、例えば工場誘致にに応じてくれる可能性もないことはないと思う。〇か×ではなく、必死になってがむしゃらにやっついていこうという姿勢が大事。自分の町だけじゃない、自分の世代のために大人が真剣に今から取り組んでいくべきだと思う。役場で何もかもやるのではなく、旗を振って賛同してくれる人を集めて、流れを作っていくっていただきたい。



高垣 操男 議員

・防災対策について

— 防 災 対 策

議員

重複になりますので1点だけ要望させていただきたいと思えます。9・4区という堤防を造って、ここ数年何事もなかったわけですけれども、この9月、それをはるかに超える水が、輪中堤といつても鮎田、大里もあるわけですが、本当に予期せぬところから被害が拡大しました。本当に被害に遭われた方にはなんといつていいのか。よもすると堤防があるから大丈夫ではないかという、そういう気も

あったかも分からないんですけれども。地元に行きますと、町は何をしてるんだ、国は何をしてるんだという声を多々聞くわけですけれども。できる限り地元の人と接触していただいて、現状は今こうなっている、こうなっているというのをいっていただいたほうが、地元の人としても少しでも安心というか、そうかなつていうのが出てくるのではないかと思えます。その点よろしく願います。

今回、備蓄倉庫と資機材倉庫は浸水されたのですか。

防災担当理事

防災倉庫と成川地区の中村倉庫についても浸水をしました。

議員

浸水して物資や機材等使用はできるのですか。

防災担当理事

中村倉庫と鶴殿地区消防団第4分団消防車庫の2階・3階を備蓄倉庫にしております。中村倉庫においては、食料品や毛布等は倉庫の2階に上げていたので無事でしたが、下に置いていた投光器と水を汲むためのポリタンクは浸水し使用できない状況でし

た。

議員

今後この備蓄倉庫と資機材倉庫を高台へ移転してはどうかと思うのですがその点どうですか。

防災担当理事

今回、浸水をした場所は、今後も浸水する可能性がありますので、適当な場所があれば高台のほうへ場所を移したいと思っております。高台に資機材等設置する適当な場所があります。今後はそのようなことも視野に入れながら場所の選定に努めていきたいと思っております。9月に設置を予定していました地区自主

防災会の防災倉庫については、台風の関係で伸び伸びになつて11月中旬に整備させていただきます。16カ所に設置をいたしました。しかし当初予定していた場所が浸水した場所については、できるだけ今回無事であった高台に移転をさせていただきました。地区の自主防災と相談させていた

た。所かありますけれども、基本的には今回浸水を免れた場所に移転して設置させていただいた状況です。

議員

防災無線の設置場所の移設について。

防災担当理事

復旧に向けての基本的な考え方としては、今回の浸水の高さより可能であれば2メートル以上にボックスを上げたいと現在調整をしております。電柱によって高さが最低でも1.5メートル以上確保できない場合には、場所の移転等も考えて高く変える方向で検討しております。

議員

カギボックスの設置について。今回も避難所へ行ったらカギが開いていなかったとか、カギは誰々さんが持っておつたんやぞという声を聞いたわけですが、その点どうですか。

防災担当理事

議員ご提言のカギボックスについては、当町においても自主防災等で検討をさせてもらった経緯もあります。そのカギには2種類あるかと思

カギが直接開くシステムとそれを開けるためカギを入れておくカギボックスの2種類あるかと思えます。カギが直接開くのは大変便利ですが、

案内経費もかかります。町としては場所によってカギが直接開くシステムとカギボックスを利用していくところと2種類に分けて検討したいと思っておりますので、もう少し時間をいただきたいと思えます。現在、町が検討しているのは、カギボックスがダイヤル式になっており、その番号を地区の自主防災の役員や区の役員等何名かに暗記をしていただいて、誰かがそれを開けて入っていただくという方法です。今、議員にご提案いただきました。自動的に開くほうも検討していきたいと思えますので、よろしく願います。

※この他に、災害復旧、来年2月より導入見直しとなっているドクターヘリ、これからの町づくりについて町長の考えについて質問がありました。



原 章三議員

- ・TPP問題について
- ・防災問題について
- ・台風12号災害について
- ・農林業関係

他

— TPP 問題

議員

復興財源を巡り、消費税の増税が大きな問題となっております。野田民主党政権は消費税の増税によって、15年間で所得税、住民税などの増税で11・2兆円の財源が確保できると言っております。あたかも消費税の増税によって、復興財源ができるかのように言っておりますが、しかし一方では、大企業に対する減税、証券優遇税制など、大金持ち優遇のバラマキ減税によって12兆円もの減税を行おう

としています。11・2兆円の増税が12兆円の減税になれば8億円の赤字です。これでは消費税の増税が復興財源には何の役にも立たないことが明らかになっております。さらにもっと大きな問題は、野田政権が表明したTPPへの参加問題であります。私はここであらためて町長のTPP問題に対するご意見をお伺いします。

町長

TPPの問題について、私は国民的議論を得て、総意を得て、参加をしていくのが筋だろうと思っております。今の段階では私も町村会にも入っておりますけれども、紀宝町としても反対の立場で進めていくのが当然だと思えます。

— 防災問題

議員

津波など町内外から不安・疑問の多かった亀栗苑、井田保育所が開設されました。その後、津波に対する避難訓練、避難道路の確保はなされたのか。また今後具体的な訓練内容・訓練計画等があれば

お示しく下さい。

福祉課長

海抜30^{センチ}以上ある地下集会所を一次避難所とさせていたが、これまで2回ほど避難訓練を実施しています。時間については約6分程度で移動が可能という報告を受けております。亀栗苑3階部分についても海抜約17^{センチ}ありますので、避難場所としては、有効だと考えております。避難訓練も一度実施し、避難時間は約3分程度という報告を受けております。

— 台風12号災害

議員

防災担当職員が3名ですが、もっと倍化して、もっと専門職的な職員を育成して固定化し、住民の防災に関するあらゆるこのニーズにこたえられるような体制をつくるべきではないでしょうか。

町長

防災対策室については3名の職員体制で通常の業務は行い、総務課の中で人員の配置割りをしながら、いざというときには課全体上げてできるだけその対応できる体制づく

りを作って、今後とも対応してまいりたいと思っております。

議員

9月4日未明、避難で取り残された人たちがあちこちで119番、役場などに電話して助けを求めました。しかしボートが4隻しかなく、救助に相当時間を要しました。今後はレスキュー隊員の増員と、救命ボートの増配備を行っていくべきではないか。

防災担当理事

熊野市消防本部にお伺いしたところ、職員増員計画については、ここ数年、欠員補助の採用となっていることから、難しい状況に思われるということでした。救助訓練等

いたのですか。

住民サービス担当理事

被災者に対する食糧の配給体制については、各避難所を中心に自主防災組織、自治会、民生員等にご協力をいただき、被災者へ配給を行ったところでは、津本地区につきましては、車等浸水したということでも避難所へいくこともできなかったという状況も後から分かったわけですが、取りまとめをしていた方が、5カ所ほど供給させていただきました。

議員

全壊された方、あるいは家が流出をされた方は、仮設住宅として民間アパートの借入、熊野市の公営住宅に住んでいますが、民間アパートについては来年3月末までですが、今後3月末で打ち切るのか。あるいは柔軟的な据え置き期間を考えているのか。

福祉課長

期限については、どうしても必要な方という場合には、県を通じて国と協議しながら、さらに6カ月の延長の範囲内でのいうのは考えております。

議員

大規模半壊や半壊で、家が修復できるまで、民間アパート、借家住まいで生活しております。そういった人たちに對する家賃補助など、今の制度としてはできないのか。家賃補助を是非、考えていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

福祉課長

現在、特別な支援制度はございません。今後、被災者の声を十分拝聴しながら、いろんな助成制度がありますので検討してまいりたいと考えております。

— 農林業関係

議員

農協に多額の借金があり返済を催促され、その返済方法については農協からまた、借金をして農協の借金を返済するしかない。自転車操業を繰り返しています。私はそうした人たちに利息分を肩代わりする救済措置はないのかどうかお聞きします。

産業建設課長

農林漁業セーフティネットの分と、関係復旧資金の、利

子補給をさせていただくというところで、農林関係の復旧資金の利子補給には0・5%の利子補給をさせていただくことにしております。農林漁業セーフティネット資金については、利子補給は0・28%ということです。

— 相野谷診療所

議員

相野谷仮設診療所には、レントゲンが今ないわけです。聞くところによりますと設置費用に50万円かかり、新しいところへもっていくのに50万円かかる、計100万円かかるということですが、患者の命とレントゲン100万円とどっちが大切なのかということを私はいいたいわけですが、いかがでしょうか。

健康づくり推進課長

レントゲン機器の配備については、すでに予算の補正をいただき、現在購入手続きを行ってるところです。12月中に入札発注を行い、1月中には稼働させていただくべく、現在取り組んでいるところで。

— ダム問題

議員

ダム問題につきましては、市町村でも大きな問題となっております。とりわけ和歌山県知事も、河川を大規模に利用するのが災害防衛に協力をするのは社会的な責務だということ、企業の社会的責任を追及しております。私は被災を受けた各市町村バラバラに、国に対する対応じゃないに、各市町村が定期的に対策会議を持って、国交省に対して、あるいはダム会社に対して、治水機能を含めた操作規程の見直し、ダム規定のあり方そのものを根本から変えていくよう要望いたします。

※この他に、町営水道、獣害対策について質問がありました。



莊司 健議員

- ・孤立集落対策について
- ・自主防災組織について
- ・災害ボランティアについて

他

— 孤立集落対策

議員

台風12号で道路が不通となり多くの人が孤立しました。災害時、道路が通行できることは、避難、復旧に大きく貢献します。「命の道」です。町内の幹線道路である県道紀宝川瀬線、県道鶴殿熊野線、県道小船紀宝線はいつ復旧の予定ですか。

産業建設課長

災害査定を受けたものは3年と聞いていますが、個々の予定は把握しておりません。

議員

いつも小船紀宝線の同じ所で崩落が起きています。復旧では、その安全対策の要望をお願いしたい。

産業建設課長

県のほうへ要望します。

議員

浅里地区を中心に、世界遺産熊野川を活かした交流事業が注目を集めています。早めの復旧をお願いしたい。道路の早い復旧が生活の復旧につながります。このままでは県道小船紀宝線は雨が降ると通行止めの可能性が高まります。迂回路として林道鮎田北松杖線の復旧舗装をお願いしたい。

産業建設課長

県のほうへできるだけ早い復旧を要望します。林道は事業採択を受けて実施します。

— 自主防災組織

議員

今回の台風で人的被害がおさえられたのは、既存の組織に加え、自主防の活動がありました。次の災害に備え自主防の支援強化を考えていますか。

防災担当理事

避難誘導、避難所の開設、

運営などの協力に感謝しています。今後、未設置地区の解消に取り組み、訓練や防災力の向上に取り組んでいきます。

— 災害ボランティア

議員

多くの方にボランティアとして貢献していただきました。今後、町民の皆さんに参加の意思を持っていただくため施策を考えていますか。

福祉課長

災害ボランティアセンター立上げや運営には、コーディネートにより比較的スムーズに行うことができました。個人参加者2566名、内町内参加者953名で参加意欲は低くなく、中高生参加も多く、将来につながると考えています。

議員

災害ボランティアの中核として、ボランティアコーディネーター組織を充実させていく計画をお持ちですか。

福祉課長

災害ボランティアコーディネーターは、現在40名を超えさらに充実させていくことは重要と考えています。

— 被災現場との

通信連絡体制

議員

被災時、現地へ出た職員、消防団と災害対策本部との連絡は十分取れましたか。

防災担当理事

過去には、防災行政無線移動系、携帯電話で行っていたが、今回情報伝達が途絶える状況でした。今後は連絡体制・方法の整備を図り、中継訓練の実施も行いたい。

議員

情報伝達が十分でなかったということ、今後より良い手段を考えていただきたい。

— 災害義援金

議員

紀宝町は、電源開発から災害義援金を500万円受け取ったようですが、新宮市に合わせ金を受け取らず、強く交渉しろとの意見が有ります。水害の要因にダム操作がある

町長

と見る人の意見です。西田町長はこの意見をどう聞かれますか。

町長

今まで治水ダムの運用を要

望し、今回も約束により事前放流水位を24㍎、29㍎へ下げていたと回答を受けました。今回の状況を見て、ダムが下流域に大きな影響を及ぼすことから治水ダムとしての活用を申し入れたところ。義援金については、他と同じ扱いで被災者の支援に役立てたいと考えています。

議員

今回の洪水で、伊勢湾台風の水位を基準に判断し、家に残り急な増水で泳いで避難、舟で救助、逃げ遅れあと少しの増水で命が危険など、1万8千337ト毎秒の放流量の影響は大きく、お見舞いならともかく義援金なら2桁額が少ないと思います。当町は電源開発からの義援金は返した上で、減災を目指し治水機能を持たせるべく交渉しては。

議員

電源開発は上流域、中流域で独占的に水を利用しています。下流域住民の安全に十分配慮する責務があります。町長いかがお考えですか。

町長

当然、企業としての社会的責任はあり、私もその思いで対応を進めます。

議員

住民はダム放流を、音声案内とサイレンで知り対応してきました。今回3千ト以上何の通報も有りません。被災後、熊野川水系のダムは利水ダムで下流の安全は電源開発は関知しない。ダムが危険になれば放流する。決壊したほうが災害が大きくなる。洪水を予想して事前放流し予想が外れたらその分補償しろというのが電源開発の意見と報道されています。電源開発は、死者も出たことで当面真摯な対応でしょう。いろいろな情報を出し町民の意見を後ろ盾に、治水ダムへの変更を目指し交渉していただけませんか。

町長

発災後、政府関係者、各党代表者、参議院災害対策特別委員会、三重県知事、県議も来ていただきお願いをしました。電源開発においても世論の情勢を踏まえ、ダム操作規程について、有識者を踏まえて国・県等と協議しながら、治水ダムとしての利用の方法等について検討していくことが発表されております。要望し、訴えてきたことが、実現に向かっているのではと思っています。今後も下流域の

安心安全のため努めます。

議員 是非、流域が安全になるようよろしく願います。



大前 森重 議員

- ・台風12号による農業林業災害について
- ・海岸施設災害及び空洞化調査について

— 農業林業災害

議員

台風12号で尊い命を失いました方のご冥福をお祈りいたしますと共に未だ行方不明の方の一日も早い発見をお祈り申し上げます。また家屋倒壊、浸水被害を受けた多くの皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。また発災時から被災者の救出活動等にご尽力

をいただきました、町長をはじめ職員皆さま、消防団また関係機関の皆さまには感謝を申し上げます。農業災害については、同僚議員の質問に対し町長より今後の復興に対する答弁をいただいておりますので、私は本町は農業の復興なくして町の発展はありえないことを申し上げておきます。次に林業災害について。本町面積の約76%が山林であります。現在の林業を取り巻く状況は、昭和39年に木材輸入の完全自由化がされ、国産材の自給率が3割を下回っているのが現状であります。安価な外材に対し国産生産は採算が合わない状況が継続し林業従事者の減少また就業者の高齢化・後継者問題による、林業経営の衰退が顕著であります。これらの要因として、荒廃林の増加が現実であります。本町を見ると多くの民家の背後が山林であり、12号台風においても、奥山、里山に数多くの山腹崩壊が発生しております。特に浅里・鮎田・高岡地区の谷沿いの山林では大規模な山腹崩壊があり、家屋倒壊また伐採後に放置された木材の流出による家屋損

壊・農地被害の拡大が顕著であります。この状況から、森林の防災機能の重要性を認識し、森林整備・里山保全対策の必要性が高まってきたと考えるが、今後の復旧についてはどのようにお考えかをお伺いいたします。

産業建設課長

森林整備や里山の保全対策では、保全対象物のない山林は原則所有者の復旧となるかと考えます。林道も各地で寸断され、山林の幹線である林道を復旧したいと考えています。また山林の崩壊は荒廃した山林が被害の増加につながったと考えられます。今回の災害を教訓に三重県・森林組合・林業事業体などと議論を重ね、山林の適正な管理を含め、水源かん養にも力を入れた山林づくりを行っていきたいと考えております。

議員

このような状況を受け、県では知事が早い反応をしており、県は森林の防災機能の重要性から、森林整備や里山保全対策などの財源目的で森林税導入に向けて進めていくのが方針がだされたと聞いていますが、町長はこの森林税につ

いてはどのようにお考えか。

町長

この森林税等を含めて、C02の問題がいわれているが、やはり低炭素社会を構築していく上では、新たな手立てを考えなければいけないと思っています。そのことがC02の削減につながり、また国土保全につながっていくと思っております。これまで森林等においても、ご指摘のように切り捨て間伐とか、放置山林等が点在して、保全機能、水のかん養機能そして、豪雨時には、そのことが原因となつて災害を引き起こされています。今回の台風の原状を見ても如実に現れている中で、森林整備はしっかりと今後取り組まなければならないと思っております。そのためにその裏づけとなる財源は当然必要になると思っており、今後一層そのことに向けて取り組みは、町としても今後機会あるごとに必要性を訴えたいと思っております。特に議員ご指摘のように切り捨て間伐材等によって、被害が起こることがいわれています。特に今回、森林整備計画の見直しがされており、今後は切り捨て間伐

をなくそうとの動きがある中で、放置山林を含め、森林組合等と協議連携し、新たな森林整備計画を樹立してまいりたいと思っております。現実的には山腹崩壊等による、流木・倒木がより大きな被害につながる状況を見て、今後の取り組みは、国の制度等斟酌する中で取り組みを強力に進めたいと思っております。

議員

町長には認識の高い答弁をいただきありがとうございます。是非とも紀宝町全体を見ると、緑のダムの中に入っているような居住形態です。で、災害の軽減に向けて政策的にも山を守ることに全力を注いでいただきたい。

海岸施設災害・空洞化調査

議員

井田海岸の施設災害について、東海・東南海・南海地震に伴う津波の発生が高い確率といわれるなか、台風12号で堤防が被災し津波発生時の危険性が高く復旧が急務であると思うが、復旧予定は。

産業建設課長

被災状況は、馬場地区150戸・茶屋地区約200戸が被災、当箇所は災害査定終了は12月16日であり、その後3カ年で工事を行っていくこととなりますが、緊急性等を考慮し発注を行い、一日も早い復旧に取り組みと伺っております。

議員

井田海岸は浸食により堤防に直接波が打ち込む状況でありますので、早期の復旧をお願いします。次に21年度から3カ年で県が実施した堤防の空洞化調査結果、本町の堤防には空洞化があったのか伺います。

産業建設課長

井田地区堤防計測点検の結果、空洞化可能性有り箇所及び空洞有り箇所は該当なし。鶴殿港では空洞化の可能性有り箇所が該当なしで、空洞有り箇所が1区間でしたが、現在は対策済となっております。

議員

津波に対し堤防の機能が發揮できるような健全な堤防また管理を、県に強く要望をいたたくようお願いします。



平野 美津子 議員

・12号台風での被災者に寄り添った支援について
・災害復興イベントについて

他

被災者に寄り添った支援

議員

災害対策基本法によりまずと、市町村は地域住民の生命、身体、財産を災害から保護すること。そして災害計画の作成及び実施が責務となっております。そのことから一人の死者、そして一人の行方不明者、多くの被災者を出したことに對しまして、謝つていかなければならないと思います。今しなければならぬことは、被災された方の生活を日常に戻していくことが

一番大切なことだと思いません。その観点からしまして、12号台風での被災者に寄り添った支援についてお聞きしております。災害救助法によりまして、障害物の除去等が規定されております。金額の13万4200円ですが、それ以上の方については自己責任で取り除くよう指導されていますが、その除去の金額が正確でないと思います。詳しく説明をお願いします。

産業建設課長

支援対象は罹災証明が発行されている住宅の日常生活に支障となる土砂等を応急的に除去するというもので、できる範囲で町が業者に依頼して行うということです。災害救助法により1件当たり平均すると13万4200円の支援ということですので。

議員

例えば土砂で全部家がつぶれた、その場合は応急的ではないと思います。そういった場合の公的な援助は。

産業基盤整備担当理事

土石流で崩壊された家とか、そういうところについては自然災害ということで、申し訳ないですけど、そういう

う対策というのは今のところは考えてはいません。

議員

そうしますと救助法の特別基準についてのありますが。

産業基盤整備担当理事

今、議員さんがおっしゃっていたその救助、支援方法ですけれども、県からも国からも聞いていないので勉強していかなければと思っています。

議員

これは兵庫県震災復興研究センターが出されたもので、「災害救助法徹底活用」という本ですが、特別基準によってできるというふうに書いています。研究していただきたい。片山前総務相は、財源論に終始する傾向をみて救急病院へ重症患者が運び込まれているのに、治療費の返済計画を家族が出すまで待たせておけというふうなもので異様です。この世の中がそれを異様だと思うところがまた異様だと朝日新聞の11月25日付けで述べています。「災害救助法徹底活用」の本は12号台風の後に発行されたもので、

国にも筆者達が提言した提言も載っております。その被災者の救援というのは、災害救助法の枠以外ではできないというふうな断られて、大変な被災者がたくさんいるというふうな書かれています。もっと柔軟にこの本も参考にしていただきたい。被災者に寄り添って心情的にはこれは取り除いてあげないといけないという思いにかられると思います。住民の方が苦しんでいるのを打開するためにも、私は町長裁量でもやってほしいと思います。この本にも兵庫県の震災の場合でも、国がお金を出したというふうな書いております。市町村がやってもその後、ほとんどが国の費用で出されています。先ほどの総務相の発言にもありましたように、川に落ちた子どもをこの川に入つてはいけないから助けてはいけないと判断するのかもしれないけれども、そういった人間としてどうしてもしれないといけないというところもあると思うのですが、町長のお考えをお聞かせください。

町長

私も平野議員とまったく同じで人間として、大変な被害に遭われた方の救助、支援についてはなんとかできないだ

ろうかということを考えているところなんです。しかし行政とかたのなかで考えますと、やはり災害救助法、また生活再建支援法等いろいろ支援者に対する支援制度っていうのがありますが、そういったなかで不公平感をなくしながら、地域、町民の皆さま方の被災の全体の軽減に努めていくことが責務であると思っております。

議員

災害救助法の特別基準も検討していただきたい。

災害により通学手段のない児童・生徒、教育委員会が把握されている件数を教えてください。

教育課長

浅里地区で3名、北松杖で3名、計6名です。

議員

送迎の体制のできるのはいつ頃ですか。

教育課長

保護者、学校、送迎する時間等の関係もあり、調整する時間もあることから、3学期に向けて調整していきたいと考えております。

議員

災害が起こってからもう3

カ月以上経っています。直ちに対策を考えていただきたくは、3学期からついでに、今学期中に実現していただく、安心して、通学ができるようにお願いします。

電源開発の放流については、浅里地域から避難されていたふれあい会館の方たちも、新宮市議会が抗議文を送ったときもマスコミ報道等で知り、自分たちもその電源開発の話聞きたいとおっしゃったので議長通じて町長にお願いしてましたけれど、その後、そのことについて諸報告でも触れられておりません。紀宝町の思いを電源開発にもぶつけていただかないといけないのではないかと思いません。電源開発からの義援金の件ですが、義援金とは「慈善とか公益とか災害救助のためなどに金品を寄附すること」ですが、加害企業から受け取るものなのか。新宮市議会は、生命の安全、生活の安全をはかるためには徹底してやらないといけないというふうにおっしゃってましたけれども、そういう姿勢っていうのをやはり前面に出し、地域住民の暮らしや命を守っていか

ないといけないのではないかなと思います、町長いかがでしょうか。

町長

議員おっしゃるとおりでございます。私もまったく同じ思いで、これからも電源開発等に対して物を申ししていきたいと思っております。ダムの問題については、皆さま方のご意見を踏まえる中で、電源開発とは交渉をしていき、意見を申し上げていきたいと思っております。ダムの操作規程等含めて見直しを進めていただく、そのことが大事であると思っております。各市町と連携をし取り組みを進めていきたい。義援金については、全国の皆さま方の思いをいただきまして、町民皆さま方にも少しもお役に立てればというかたちのなかで配分をさせていただきます。

議員

神内川に流れた旧リサイクルセンターコンテナにより橋の上と下手が水面の段差があり水を遮っていたのではないかと地域の方がいつておりますが、認識はどのようにされておりますか。

環境衛生課長

明らかにコンテナで被害があったと立証できるかどうか、それで被害があったとは認識はしておりません。

議員

役場として専門家に調査を依頼する気はありませんか。

環境衛生課長

コンテナで被害があったという認識しておりませんので調査する予定はございません。

復興イベント

議員

300万のイベント費が計上されています。それで喜べるのは被害の少なかった方と、生活復興できた方だと思います。今必要なのは被災された方に寄り添った支援をすることだと思えます。

企画調整課長

町内を元気づけるイベントを開催することにより、町民の皆さまに笑いと元気をお届けし、また当地方への風評被害の払拭を図ることを目的に実施したいと考えております。災害復興イベントを開催し、被災された方々をはじめ、町内の方々に楽しんでい

ただき、心身ともにリフレッシュされ、今後の復興の一助になればと考えております。

議員

今回のように多数の方が被災しているのですから、その地域の復興を先に考えてほしい。イベントを実施したからといって風評被害が取り除けるわけではなくて、その根源をきちんと取り除かない限り、紀宝町の元気というのは出てこないと思います。

入札

議員

12号台風で成川小学校が浸水しました。浸水対策の設計変更が必要ではありませんか。

教育課長

計画通り現在の場所ですというので進めております。設計についてもいろいろな手順も踏みまして入札も終わっております。地元の区長や町内会の班長等に再度話を聞けたらと思います。

※この他に、重症心身障がい者の療養介護施設の設置について質問がありました。



山本 精一 議員

- ・台風12号での被害関係等について
- ・就労継続支援B型事業について

台風12号での被害関係

議員

水道の断水により命の水の大切さを痛感しましたが、取水口が1カ所であるため、豪雨や近い将来発生が心配される地震や津波による大規模な災害により今後も断水になる恐れがありますが、対策をどのように考えていますか。提案ですが、御浜町と熊野市は何箇所も取水口がありますので所轄、行政間を超えて本管を接続すれば緊急時に共有し、南郡熊野市が一体となっ

た水道関係ができるのではないでしようか。

町長

大変良い意見をいただいたと思います。実現できないか、検討していきたいと思いますが、当町の場合は、1カ所の取水口で対応していますが、今回のような水害に対応できる体制づくりを進めていきたいと思っていますので、これは大変有効な手段と思います。今回は御浜町からも1000トを超える水の供給をいただきましたが、少しでも軽減できるのであれば、検討していきたいと思っています。お互い困ったときには助け合える体制づくりを前向きに考えていきたいと思っています。

議員

避難所、避難路、連絡方法の見直しは考えていると思いますが、避難所での生活に対して、被災者の方からの様々な意見を踏まえて、避難生活の改善を考えていますか。

防災担当理事

避難所生活は団体生活になり、プライバシーの確保や避難所においてのマナーなど、いろいろと問題点が浮き彫りになりました。避難所運営に

おいて感じたことは、長期間、避難所を運営するにあたって、行政だけで行うということは非常に難しく思いました。今後は、共助の取り組みとして、区長や自主防災組織の方々にも協力をいただき、運営していく体制づくりが必要であると感じました。今後は避難訓練だけでなく、避難所運営等の訓練も取り入れ、自主防災組織が主となり、運営できる体制を構築していく必要があると思っています。

議員

避難生活のストレスで、帰宅してから体調が悪くなった、場合によっては亡くなる方も出る恐れがあります。避難所には高齢者、障がい者の方もおられ、共助の精神は必要ですが、一日のうちに用を足しに同じ方に何回も介助いただくのは、気を使うことだと思います。そう考えると避難所での介護ヘルパー設置の体制づくりを一度考えてほしいと思います。

町長

避難所に避難されている皆さまのお気持ちは、大変なものだろうと私も思います。多くの方が生活している中、夜

中に用を足さなければならぬ状況もでてきますし、大変苦勞されたと思っています。支援の必要な方は、町としてもできる限りの対応をさせていただきます。特に避難所生活においては、ご指摘いただいた部分についても、今後いろいろと検証し、しっかり生かしていける体制づくりについて、協議しながら進めていきたいと思っています。

議員

避難所に、シャワー室を作れないでしようか。

防災担当理事

避難所として地区集会所や学校の体育館を利用させていただきましたが、地区集会所には、シャワー室等はありません。避難施設として整備していくところには、シャワー室も必要と考えています。

議員

家屋への大規模な土砂災害は、被災者にとって苦痛の日々です。被災者生活再建支援金では解決できない被災者や災害弱者の方へ、町としても行政支援すべきではないかと思えます。今回の災害では損害保険に入られていない被災者の方も沢山おられたと思

います。紀宝町の人口は1万2000人余りです。成人の方が9800人。町県民税の納税義務者は5012人です。そのうち700人弱が均等割といい、家族が一人の場合ですが、年収が93万円から99万円の方です。税金のかからない方と合わせると成人の56・1%になり、この方々は生活するだけでも精一杯と思われると思います。このような災害弱者の方は、支援がなければ立ち直ることが難しいと思われる。全国的に見ても、貯金ゼロの方が33・9%いますし、今現在、国民の61人に1人が、生活保護を受けている状態です。この思いだけ伝えて終わりたいと思います。

総務担当理事

ご納得がいただけなかった世帯のみ再調査させていただきましたが、他の約1000件程度は、家屋被害についての見直しはさせていただいておりません。

議員

被災者の方は判定基準が分からないです。被災者の方のことを考えるならば、認定調査書を類を再検証していただきたい。

総務担当理事

再調査棟数は13棟、判定区分に変更があったのはその内の6棟、変更がなかったのが7棟という結果となり、文書で通知させていただいておりません。変更点は、当初の調査と比較し、天井や壁、床などの損害程度が、より重く評価

議員

被災者対象に固定資産税の減免はありましたが、町県民税についても2期分から減免を町として考えてはどうですか。

住民サービス担当理事

台風12号及び15号により被害を受けられた方には、確定申告で災害減免法に定める税金の軽減免除による方法、所得税法に定める雑損控除の方法のどちらか有利な方法を選択することにより、所得税や住民税の全部または一部を軽減できる制度があります。

議員

紀宝町の実態から見ますと課税標準額が200万円以下の方が、77・8%おられます。平成18年に税源移譲があり、町県民税の税率5%が10%になり負担が大きくなりました。雑損控除・災害減免では、被害額が大きすぎて補えない

ことから町県民税の減免措置も考えられます。その点どうでしょうか。

住民サービス担当理事

地方団体の長がとりうる措置として被害者側の納付すべき当該年度分の税額のうち、災害を受けた日以後に納期の末日の到来するものは、納税相談等に応じて、分割納付なり、そういったかたちで対応していきたいと考えております。

議員

私は納得できませんが、いったん終わります。

就労継続支援 B型事業

議員

元のAコープ鶴殿店跡に福祉の店として11月にオープンしましたが、障がい者の方を何名雇用していますか。また今後どのように展開していくかを教えてください。

福祉課長

現在の雇用状況ですが、8名の方が就労しています。福祉の店アプローチの今後について、初年度については、店舗に障がい者用トイレや手摺りを設けるなどバリアフリー

化の施設整備を行ってまいります。また高齢者などにも優しい店づくりをめざし、店内にはたまり場を設け、気軽に交流できるスペースが確保されています。次年度以降については、就労継続支援B型事業の目的である通所による就業や生産活動の機会を提供し、一般就労などへの移行にむけての支援に取り組みながら、事業を軌道に乗せるよう努め、配送や顧客の送迎、地域福祉の一環として、社会福祉協議会の看護師やケアマネジャー、ヘルパーなどの活用により、たまり場において健康チェックや福祉相談なども行っていく予定と聞いています。

議員

同社協によると、正式決定後売れ筋などの地域のニーズを考慮しながら、商品のラインアップなどをつめる方針と聞いています。また障がい者の雇用については、個人の特性にあった仕事を創出していくということですが、どういうことを今やっているのか、障がい者の方の賃金と雇用定数は何名か教えてください。

福祉課長

ホカホカを合い言葉という

ことで、現在はあったかいお弁当と惣菜の販売をして、非常に地域の人に喜んでいただいていると聞いております。就労している方の主な役割ですが、現在のところ商品の陳列、箱詰め、一部レジなどもやっていたいでいる状況です。賃金については、1日800円。月に1万7600円。それに年2回ボーナスというかたちで1万円ずつです。これをならせば、1月当たり1万9200円の賃金の支給ということになっていきます。定員は10名となっています。

議員

成川地区では水害で商店が廃業したところがあります。鶴殿地区以外は商店が少ない状況です。B型支援店は1軒だけでなく、2軒にすることによって両店舗が持ち味を出し、競争していく。店が無い地区の年配者の方は商店を希望しています。運営状況が良くなってきたら、もう1店舗増やしてほしい希望がありますが、1店舗で終わるのか、町長に質問します。

町長

町としてもいち早く障がい

者の皆さまの自立支援をしていこうという検討しているところ、昨年頃から、Aコープの問題が出てまいりました。店の今後の運営等について、いい方法はないか考えていたわけですが、障がい者の皆さまの雇用の場の確保と地域の経済、また買物難民の皆さまのお役に立てればという思いで、この春から正式にJAとも協議をして、11月に開店をさせていただいたところ、買いたい物に対して、非常に不便をきたしている地域もあります。社会福祉協議会のお力添えをいただくなかで、買い物ツアーを企画していただいで、行っていたたいです。就労支援B型の福祉の店アプローチの今後の運営状況を見ながら、出前サービス等を検討していきたいと思っております。

議員

福祉の店で障がい者の方が就労し、働く喜びや苦しいところもあるでしょうが、その中から本当の意味での生き甲斐を感じとってほしいと思います。また店舗の追加についても考えていただきたいと思



福祉の店アプローチ



榎本 健治 議員

- ・防災対策について
- ・地域活性化について
- ・子ども議会について

— 防 災 対 策

議員

東日本大震災での地震・津波、台風12号での大水害、土砂災害で明らかになった課題は何なのか。今後3連動地震に備えて今回の災害を教訓にどのように生かしていくのか。

防災担当理事

特に早急に対策をしないといけない課題として、情報伝達手段の確保、自主防災組織の育成強化です。町内すべての地区で、自主防災組織を設立し、自然災害が発生した場

合、地区住民同士で助け合う

組織の重要性を痛感しまし

た。また、ライフライン、水

道、電気、電話の重要性につ

いても、改めて感じました。

住民生活にとって、かかすこ

とができないライフラインの

寸断がダメージを大きくする

要因になると思いますので、

災害後の復旧作業等について

も、スムーズに対応いただけ

るよう、関係団体にもお願い

したい。避難所の把握や避難

場所、避難路の確保、備蓄類

の配布方法、救助体制、本部

体制など、反省すべき点もあ

ります。この災害の教訓を今

後に生かすため、町防災計画

変更時には、一つひとつ検証

する中で、課題を改めて洗い

出し、今後につなげてまいり

たい。3連動地震について

も、事前の減災対策など、

様々な課題も上げられており

ます。自助・共助・公助の連

携を確立することが非常に大

事なことであります。自らの

安全を守るためにも、早めの

避難を講じられるよう、広報

啓発活動にも取り組んでまい

りたい。それぞれの役割を果

たすことで、被害を小さくで

きるよう取り組みを進めてま

いります。

議員

実は三重県のほうでも、平

成23年の10月に三重県緊急地

震対策行動計画を発表されま

した。この題名は生きるため

に備えよ。そして生きるため

に逃げよということに記載を

されている。東北地方の太平

洋沖地震で、国の中央防災会

議が想定した災害のレベルと

は大きくかけ離れた大津波で

あった。従前の想定に基づ

き、各種防災計画、防災対策

を進めてきたことが一部地域

においてかえって被害を大き

くさせた可能性も否めない

ということがわかった。紀宝町

の防災計画の見直し時期はい

つなのか。時期を伺います。

防災担当理事

防災計画の見直しは、国の

防災会議が発表される計画に

沿って見直しをかけていき

いと思っておりますが、浸水

対策、震災対策、津波対策の

ための避難場所、避難路の整

備等は早急に取り掛からなく

てはならない課題であると認

識しております。

議員

7月に東北地方のほうへボ

ランテアに行かせていただ

き、一番驚いたのは南三陸町

で防災対策庁舎が3階をはる

かに上回る津波で鉄骨鉄筋し

か残ってなかった。海岸から

100メートルくらいの場所にあ

り、当町も海岸から近い場所

に位置するわけで、2階にサ

ーバー室があり、防災機能の

拠点であります。南三陸で

は、防災無線のほうで女性の

方が避難してくださいという

ことを3階からずっと言い続

けて、最後には津波でお亡く

なりになられたということを

お伺いました。三重県が発表

した津波高、12メートルいわれ

ているなかで、2階にある広

報や特に防潮扉のサーバー室

機能や情報機器は守ってい

けるのか。

防災担当理事

現在の庁舎では被災する恐

れが非常に危惧されていま

す。2階が浸水する状態にな

れば、コンピューター等のサ

ーバー室が機能しなくなるこ

とも懸念されますので、早急

に庁舎の見直しについては対

応してまいりたいと思ってい

ます。

議員

避難時の交通渋滞や災害時

の要援護者の逃げ遅れ、児童

生徒の避難方法などにより被

害が拡大した問題が指摘され

ています。台風12号の時、

一番人口が密集している鶴殿

地区は高台である鶴殿小学校

は車が大渋滞であった。まし

てや東北のときも津波による

水死が92.4%に上っている

。要援護者の方の避難手段

や車での避難、観光客の避難

誘導など。国道42号からも避

難誘導標識が必要ではない

か。

防災担当理事

国道から避難路までの誘導

看板の整備も検討しており、

御浜町と図案を統一して、近

隣の市町から来ていただい

てもその看板が分かるようにし

ていきたい。

議員

断水時、紀宝町が持っている

海水を真水に変える浄水機

は活用できなかったのか。使

用できなかったとしたらなぜ

なのか。危機管理の面からも

利用できないのであれば見直

しが必要ではないか。

環境衛生課長

浄水機は現在4台ありま

す。断水時すぐに四日市、伊

勢市、鈴鹿市の給水車が来て

いただき給水活動を実施。浄

水機に職員をはり付けるよりも、給水車のほうが効率が良いという判断をさせていただき、浄水機の使用はしませんでした。

議員

救援物資や支援物資の配給についてバラツキがあった。災害時の配給体制をどのように確立していくのか。

福祉課長

調達物資及び被災者が必要とする救援物資と提供していただける物資との調整、効率的に救援物資を配給できる受け入れ体制及び運搬体制の構築が非常に大事だと思っております。被災者で本当に救援物資が届かなかったという方もございます。真摯に受け止めて今後の検討課題としてしっかりと対策を講じていきたい。

議員

避難所のあり方を検討していくなかで、例えば避難所に太陽光で電力を備蓄できるシステムを備えることはできないか。使用しなかったときは、区の電気料として区へお金が入る形のシステムを構築できないか。

防災担当理事

ソーラー発電については、非常に平時のランニングコストもかかります。コストとも照らし合わせながら、順次整備をしていきたい。ソーラー発電だけでの対応というのは非常に厳しいのではないかと思っております。発電機等を各地区に配置させていただいて、照明の確保には努めていきたいと思っております。

議員

三重県内で防災に対して、各市町の初動体制での連携をどのように考えているのか。海岸部に位置する市町と山間部に位置している市町との情報の共有や連携など必要ではないか。

防災担当理事

近隣市町の連携をはじめ、県内市町とも連携をなお一層図り、相互扶助の協力関係を構築してまいりたい。地区内の共助、町内の共助、近隣市町の共助、県内の共助の構築というのは非常に大事と認識をしています。

議員

先般東北ボランティアへ行ったとき、各市町の自治体が被災したために、宮城県自体が状況を把握できなかった

と。だから初動体制で大変遅れてしまったということも言われている。3連動地震では初動体制の部分で、被災していない自治体と被災している自治体と、瞬時に行動できる協定を議論して進めていただきたいと思います。

地域活性化

議員

自動車「熊野」ナンバー実現に向けて。全国で現在19地区のご当地ナンバーが誕生をしております。田辺市から以南新宮市、紀宝町、御浜町、熊野市、または尾鷲周辺までは神話の時代にはじまり中世の熊野詣、江戸期から明治、大正の近世まで信仰の地として栄えた歴史から、全国各地に3千あまりの熊野神社が存在しております。また木材や備長炭等、産業の地、文化や学問の地として熊野地域はその名を馳せ、現在、紀伊山地の霊場と参詣道として世界遺産に登録され、熊野古道、伊勢路、中辺路等が全国的に癒しの地、蘇りの地として注目を集めております。今回の紀伊半島大水害を受けて、今後

平成23年第4回定例会



の復興に向けて地域で一带と
なっており、取り組んでいく、そう
いった意味も込めて全国ブラ
ンドである「熊野」という地
域名称を自動車のナンバープ
レートに導入できないか。す
でに2県に跨るナンバープレ
ートとして富士山ナンバーが
静岡、山梨の両県で導入がさ
れております。「熊野」ナン
バー実現に向けて町の考え方
は。

企画調整課長

当該地域においても、「熊野」
がご当地ナンバーとして導入
されれば、名実ともにその名
が全国に認められることとな
り、認定時やその後の観光振
興、地域活性化などへの効果
が期待されることから、その
取り組みに、町も関わってま
いりたいと考えております。

議員

地域が一带となって復興に
向けて、この熊野ナンバーの
導入を求めていきたいと思っ
ています。国土交通省のナン
バープレート有識者会議でご
当地ナンバーの拡大で観光振
興に役立てようと世界文化遺
産に登録された「平泉」や、
その他では「奄美」、「前橋」
三重県では「伊勢志摩」、な

どが追加を求めている。普通
自動車、軽自動車を合わせる
と、尾鷲市〜田辺市で約21万
台ある。紀宝町としてのゴー
サインが必要ではないか。町長
の考えは。

町長

今回の災害を受けて、地域
全体の観光、産業振興を図る
うえで大きな一つのPR効果
であり、熊野地域全体で方向
性を一つにもって行動を取っ
ていける、私も一つのいい手
段と思います。今後とも実現
に向けて頑張っていきたい。
実は私も声を上げており、熊
野圏地域の振興策を考える市
町村の協議会を作っていこう
と検討しています。災害前に
那智勝浦町、新宮市、尾鷲ま
で含めて協議会を立ち上げよ
うと準備をしていたが、今回
の台風の被害を受け少し延び
てしまいました。熊野地域の
売り込み方法をご遷宮等に合
わせて、地域全体で協議会の
立ち上げを考えています。必
要な議題として、今後の振興
策について前向きに考えてい
きたい。熊野地域全体の浮上
に向けてお知恵を拝借できれ
ばありがたいと思っております。

子ども議会

議員

子ども議会の実施に向けて
6月議会以降の進捗をお伺い
します。

教育長

6月に学校でどうかと議論
させてもらったのですが、学
習指導要領の改訂や防災教育
の全面的な見直しで学校は本
年度は非常に多忙な状況の
中、実施の指示等は差し控え
ておりました。学校の自主性
に任せたいと思っております
。2学期になり町内でも大
きな被害がありまして、その
時点から、実は私、子ども議
会については、頭のなから
消えておりました。今回、議
員のほうから通告を受けて、
新たに子ども議会を考えてい
るわけですが、6月からいま
まで進捗は一切ありませんで
した。

議員

頭のなから消えていた。
今までの議論はなんだったの
か。今の答弁聞いて残念で仕
方ない。教育長は今年度はや
らないということですか。学
校側に投げかけたけども、や

れないという返答がきたと答
弁いただきましたが。一昨年
の子ども議会は教育委員会が
主導して教育長がやっていこ
うと実施したが、今年度はも
うやらないのか、やれないの
か。どちらでしょうか。

教育長

先ほどの頭になかったって
いうことは大変良くない表現
であると反省しております。
本年度の開催はもう無理であ
ろうと判断しておりますので、
来年度開催できるように今後
取り組んでいきたいと今のと
ころは考えております。

議員

新宮市議会や九度山で開催
されている子ども議会は大盛
況だった。高校生や子どもた
ちが町づくりに関心を持つこ
とで、受益と負担のバランス
を学べる。来年度、実施する
と言い切っていたら僕は
はもうこれ以上質問しませ
ん。

教育長

するしないは今の時点では
はっきりいえませんので、す
る方向で検討させていただき
たい。

議員

来年もまた1から検討し直

すのはおかしいんじゃないで
すか。議論がゼロですね。教
育委員会が主導して子ども議
会を実施してください。

※榎本議員の一般質問に
ついては、本人のホーム
ページに掲載しています。

(<http://www.enomokenji.com/ipan.htm>)

平成23年第3回 定例会（9月）



平成23年第3回紀宝町議会定例会は、9月13日に開会しました。

第1日目は、専決処分案件2件を承認し、建物収去土地明渡等請求事件の和解案件、平成23年度一般会計補正予算（第4号）、井内地域開発事業特別会計補正予算案件など3議案を可決しました。

第2日目の10月11日は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。三重県後期高齢者医療広域連合議会議員を選出した後、議案審議に入り、工事請負契約の締結案件、条例の一部改正案件2件、平成23年度一般会計補正予算案件2件、特別会計補正予算案件5件など10議案が提案され、それぞれ可決しました。

第3日目の12日は、平成22年度一般会計決算並びに7つの特別会計の決算を認定した後、4件の請願を採択し、この請願に基づく意見書4件を可決し、閉会しました。

なお、7名の議員が一般質問通告をしておりましたが、それぞれの議員より、一般質問の取り下げがありました。

可決された議案（9月）

● 専決処分の承認

- ・平成23年度一般会計補正予算（第2号）
- ・平成23年度井内地域開発事業特別会計補正予算（第1号）
- 建物収去土地明渡等請求事件の和解
- 工事請負契約の締結（成川小学校仮設校舎建設工事）
- 紀宝町災害弔意金の支給等に関する条例の一部改正
- 紀宝町委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

- 平成23年度一般会計補正予算（第3号・第4号・第5号）
- 平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 平成23年度診療所事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成23年度井内地域開発事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成23年度町営浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第1号・第2号）
- 平成23年度水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成22年度決算の認定（8会計）

意見書（9月）

- 「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める意見書
- 「30人学級を柱にした新たな「教職員定数改善計画」策定と教育予算拡充」を求める意見書
- 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書
- 「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める意見書

平成23年 第2回臨時会

は、平成23年11月10日（木）に開かれ、この臨時議会では、矢野中学校屋内運動場耐震補強工事請負契約の締結について可決した後、議員発議により、災害対策と復興対策に関する調査・研究を目的に、議長を除く全議員13名からなる災害復興対策特別委員会の設置が決議されました。

※後に開かれた災害復興対策特別委員会において、向井健雅議員が委員長、榎本健治議員が副委員長に選出されております。

平成23年 第3回臨時会

は、平成23年11月28日（月）に開かれ、この臨時議会では、平成23年9月の人事院勧告に伴う、職員の給料減額に関する条例2件が原案通り可決されました。

議会日誌

平成23年7月～9月

- | | | | |
|-------|---|-------|------------------------------------|
| 7月 6日 | 港湾・井田海岸浸食対策特別委員会 | 26日 | 紀南環境衛生施設事務組合議会（新宮市） |
| 12日 | 全員協議会 | 30日 | 全員協議会、紀南介護保険広域連合議会（熊野市） |
| 21日 | 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動（国土交通省）〔22日まで〕 | 9月 1日 | 熊野川流域対策特別委員会 |
| 26日 | 近畿自動車道紀勢線〔熊野市～新宮市間〕建設促進期成同盟会総会（紀宝町） | 5日 | 全員協議会、議会運営委員会 |
| 8月 3日 | 三重県町村議会議長会定期総会（津市） | 6日 | 平野防災担当大臣現地視察 |
| 4日 | 議会運営委員会 | 9日 | 議会運営委員会、台風12号による災害に関する野田内閣総理大臣現地視察 |
| 5日 | 熊野川流域ダム湖下流団体協議会定期総会（新宮市） | 13日 | 第1回定例会第1日目、議会運営委員会 |
| 11日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望・提言活動（中部地方整備局、紀勢国道事務所） | 14日 | 三重県町村議会議長会長災害見舞、自衛隊撤収式 |
| 17日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望・提言活動（和歌山県庁、近畿地方整備局、国土交通省）〔18日まで〕 | 16日 | 東員町正副議長災害見舞 |
| 23日 | 教育民生常任委員会 | 22日 | 紀北町正副議長災害見舞、全員協議会 |
| | 熊野川改修促進期成同盟会理事会・総会（新宮市） | 23日 | 北越紀州製紙(株)洋紙事業本部紀州工場訪問 |
| | | 25日 | 中川文部科学大臣現地視察 |
| | | 27日 | 全国町村会長台風12号被害の現地視察 |

次回定例会の予定

3月5日(月)開会予定です。
傍聴は議会議務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5カ所のロビー等において、町議会本会議の様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター(鵜殿)
 - ④ 保健センター(神内)
 - ⑤ 相野谷診療所(※現在修理中)
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧いただくには、
◎ 紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案(12月)

- 固定資産評価審査委員会委員の選任同意
・ 固定資産評価審査委員に糸川怜史さん(鵜殿)、田中康之さん(阪松原)、萩野進也さん(井田)の選任に同意しました。

紀宝町税条例の一部改正

・ 現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行うものです。

紀宝町保育所条例の一部改正

・ 紀宝町立井田保育所建替えに伴い位置が変更となったため、所要の改正を行うものです。

紀宝町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

・ 水道法第10条の規定により、紀宝町水道事業認可変更申請に伴い、所要の改正を行うものです。

平成23年度一般会計補正予算(第6号・第7号)

平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

平成23年度水道事業特別会計補正予算(第3号)

意見書(12月)

- 電力多消費型経済からの転換を求める意見書
- 学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書

編集後記

昨年発行予定の第21号は、台風12号対応のため延期しましたことをまずお詫び申し上げます。

昨年わが町は洪水、土砂災害で甚大な被害を受けました。被災された皆さま方には心よりお見舞い申し上げます。被害家屋の解体、修理等は進んでいるようですが、被災後体調を崩した、身近なものがない、家を修理したが不具合が出たなど、何かと自由な日々をお過ごしのことと拝察します。

今回、これ程の災害の中で人の被害が比較的少なくすんだのは、町民の皆さまの臨機応変の対応と、自主防など自助、共助の日頃の取り組み効果ではないでしょうか。

昨年暮れ、三重県の大規模地震に伴う津波高の予測が発表されました。洪水対策とあわせ災害に強い安心・安全な町を目指したいものです。

(文責 莊司)

「議会だより」(第21号)

編集委員 山本 精一
原 章三 莊司 健